

いわさきちひろ生誕 100 年  
「Life 展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣

展覧会ボランティア募集！

ちひろ美術館・東京では、いわさきちひろの生誕 100 年にあたる 2018 年、いわさきちひろと、さまざまな分野で活躍する作家が「Life」をテーマにコラボレートする展覧会を開催します。

2018 年 5 月 12 日（土）まで開催中の展覧会「Life 展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣では、展覧会の魅力を来館者に伝えるボランティアを大募集！

来館者と作品を「つなぐ」楽しみ、来館者の「！」を引きだすよろこびを、いっしょに味わってみませんか？

【展覧会概要】

展示名： いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣

主催： ちひろ美術館

特別協賛： 株式会社ジャクエツ

助成： 公益財団法人花王芸術・科学財団

協力： 株式会社エイプラフト、華陽堂、菌部秀徳、中矢清（敬称略）

後援： 絵本学会、（公社）全国学校図書館協議会、（一社）日本国際児童図書評議会、日本児童図書出版協会、（公社）日本図書館協会、杉並区教育委員会、西東京市教育委員会、練馬区

会期： 2018 年 5 月 12 日（土）まで

会場： ちひろ美術館・東京

●「Life 展」 まなざしのゆくえ 大巻伸嗣

——未来に向けるまなざし

ちひろ美術館・東京は、ちひろが亡くなるまでの 22 年間に過ごした場所に建っています。数々の作品がうみだされたアトリエを中心に据え、ここにはちひろの記憶が色濃く残されています。大巻は、この場所のあちこちにちひろのまなざしを感じるといいます。そのまなざしの先に、いのちの尊い姿が浮かび上がってきます。大巻は、ちひろがとらえた「Life」を、インスタレーションを通じて増幅させ、わたしたちが未来に向けるまなざしと交差する空間を創出し、わたしたちに「生きる力」を喚起します。

いわさきちひろ生誕 100 年サイト [100.chihiro.jp](http://100.chihiro.jp)

●いわさきちひろ（1918-1974）



いわさきちひろ 1973 年



木の葉にすわる子ども 1966 年

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。1950 年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。同年、松本善明と結婚、翌年、長男猛を出産。1956 年 小学館児童文化賞、1961 年 産経児童出版文化賞、1973 年 『ことりのくるひ』（至光社）でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞を受賞。1974 年 肝ガンのため死去。享年 55 歳。

## ●コラボレーション作家 大巻伸嗣（おおまきしんじ）（1971年～）



岐阜県生まれ。現代美術作家。東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。現在、東京藝術大学美術学部彫刻科教授。「空間」「時間」「重力」「記憶」をキーワードに、“物質と空間・存在”をテーマとして制作活動を展開。見ることでできないものを可視化し、体感させることで、新たな身体的、知覚的空間を作り出すことを試みる。空間を非日常的な世界に変容させ、鑑賞者の身体感覚を呼び覚ますダイナミックなインスタレーション作品を発表。

## ●展示内容

### 戦火のなかの子どもたち—Echoes - Genius Loci

Genius Loci（ゲニウスロキ）はラテン語で、Geniusは守護霊を、Lociは場所や土地を意味し、ローマ神話に登場する破壊と恵みの守護神の名でもあります。大きくうがたれた窓からは、街をなめる劫火を思わせるような鮮烈な赤が広がっています。窓のなかには震災と戦争のイメージが重ねられています。さらにそこに重ね合された陶器のイメージは、失われゆく文化のメタファーとすることもできるでしょう。そこには、土地に刻み込まれた傷跡や負の記憶、そして、そこから新たに生まれる力の萌芽が感じられます。このインスタレーションでは、『戦火のなかの子どもたち』のなかから大巻自身が選んだ作品と、2011年の東日本大震災の後、大巻が眼にした被災地の光景を水彩でとらえたドローイングとともに展示しています。



大巻伸嗣 Echoes-Genius Loci 2017年 (C)Shinji Ohmaki Studio  
いわさきちひろ 焰のなかの母と子（部分拡大）『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より 1973年  
撮影：椎木静寧

### Echoes-Crystallization -ひかりの風景 ちの記憶-

本展のために大巻が制作した Echoes-Crystallization シリーズの最新作では、ちひろのいのちの表現に重ねてイメージがつけられました。大巻が制作中に繰り返し見ていたのは、広島原爆で被爆した子どもたちが書いた文章にちひろが絵を描いた『わたしがちいさかったときに』です。大巻はちひろが見つめたいのちを、今、伝えていく必要性を切実に感じるといいます。-ひかりの風景 ちの記憶-と題したこの作品では、原爆が投下されたときの閃光、湧き上がるきのこ雲、熱線

により一瞬にして影だけを残して焼失した人々、焼け焦げた人々のイメージが重ね合されています。床に映る植物の影は一瞬にして奪われた夥しい数の人々の生の痕跡のようにも見えます。この作品に合わせて大巻は、ちひろが描いた黒いダリヤの絵を選び、あわせて展示をしています。



大巻伸嗣 Echoes-Crystallization -ひかりの風景 ちの記憶- 2018 年  
@Shinji Ohmaki Studio  
撮影：椎木静寧

## ●ボランティア応募について

### <応募条件>

- ・大学生以上の方
- ・責任を持って活動に参加できる方
- ・この展覧会に興味を持って参加できる方
- ・来館者とのコミュニケーションを楽しめる方
- ・ちひろ美術館の活動全体についてご理解いただける方

### <活動内容>

- ・いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」まなざしのゆくえ 大巻伸嗣展覧会会場にて、来館者とコミュニケーションを取りながら、作品の楽しみ方を伝えていただきます。
- ・活動期間：4/28（土）～5/12（土）、シフトは半日交代を予定
- ・交通費：実費支給（日額 1000 円まで）
- ・いわさきちひろ生誕 100 年「Life 展」コンセプトブックと Life 展パスポート\*を差し上げます。  
\*ちひろ美術館・東京と安曇野ちひろ美術館で開催する、すべての「Life 展」に何度でも入館できるパスポート

### <応募方法>

- ・規定エントリーシート（ボランティア歴があればそれも記入） 4月19日（木）必着  
（応募書類は返却いたしませんのでご了承ください）
- ・選考の上、4月21日頃までに選考結果をご連絡します。
- ・研修日：4月22日（日）午後 ちひろ美術館・東京にて **※研修参加必須。**
- ・履歴書送付先：〒177-0042 東京都練馬区下石神井 4-7-2 ちひろ美術館・東京 ボランティア係宛

### <事前見学会>

- ・日時：2018 年 4 月 14 日（土）14：00～15：30
- ・参加費：無料
- ・ボランティアに興味がある方に向けた事前見学会です。  
参加ご希望の方は、お電話でお申込みください（03-3995-0772）。